

市長公室

【 代 表 課 】

秘書課 0 4 8 - 8 2 9 - 1 0 1 4（直通電話番号）

（各事業のお問い合わせ先がご不明の場合には、上記代表課にてご確認ください。）

担当局																				市長公室								
通番	事務事業名	事業名	H22年度 予算額 (千円単位)	事業 類型	見直しの判断基準(メルクマ-ル)										実施 方法	事業の概要 (目的・内容)	見直しの方向性			職員数			提出調書				担当課	行革本部 の見解
					(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)			該 当 なし	方 向 性	見直し内容		正 規	再 任 用	臨 時	様 式 2	附 表 1	附 表 2		
1	定例記者会見インターネット 動画配信委託料	定例記者会見インターネット 動画配信委託料	6,263	C											1	3	ク	・より視聴者に理解されるよう、ライブ中継に合わせた記者 会見資料データの掲載について記者クラブと調整する。 ・会見議事録について、議題ごとに小見出しを付すなど視 聴者が読みやすくなるよう工夫して継続する。	0.2			1					広報監付	ク-1
2	秘書事務事業	秘書事務事業	37,428	C											1	1	オ	他課との調整を図り、よりよい市政運営を遂行できるよう改 善していく。	9.0	1.0		1					秘書課	オ-9
3	秘書事務事業	表彰式事業	4,665	C											1	1	オ	開催時間を変更するなどの工夫により、コスト削減に努め つつ、一定の格式を保ちながら実施していく。	1.5			1					秘書課	オ-9
4	さいたまシティ・アイデンティ ティ創出事業	PR名刺作成事業	1,158	C					1							2	オ	PR名刺は、年度当初に市長等に一定枚数を配付し、各人 が使いきった時点でその都度増刷しているが、これを定期 化することによって、1枚当たりの印刷単価を抑制すると ともに、2つ折りとしている仕様を見直して、コスト削減する。	0.7			1					広報課	オ-8
5	さいたまシティ・アイデンティ ティ創出事業	(仮称)都市イメ-ジ戦略プラン 策定事業	4,999	C						1						2	ウ	本プランには、 効率的・効果的に情報発信を行うための 取組方針、 都市イメ-ジの形成に向けての全庁的な事業 展開について示すことを予定しているが、これらを本年度 策定する「(仮称)広報(情報提供)マスタープラン」の構成要 素として取り込むこととし、プランの策定事業を一本化する。	1.1			1					広報課	ウ-3
6	広報事業	(仮称)広報(情報提供)マス タープラン策定事業	5,080	C											1	2	ウ	本年度中にプランを策定するものであるが、「(仮称)都市 イメ-ジ戦略プラン」において示す予定としている 効率的・ 効果的に情報発信を行うための取組方針、 都市イメ-ジ の形成に向けての全庁的な事業展開を、本プランの構成 要素として取り込むこととし、プラン策定事業を一本化する。	1.5			1					広報課	ウ-3
7	広報事業	広報紙発行・配布業務	184,956	C											1	2	オ	市政に関する必要な事項を市民に周知するうえで極めて 重要な媒体であることから、今年度策定する「(仮称)広報 (情報提供)マスタープラン」の策定作業を進める中で、より 読みやすく、親しみやすい広報紙のあり方などを検討し、 実施する。	4.7			1					広報課	オ-10
8	広報事業	市ホ-ムペ-ジ運営管理業務	2,917	C											1	2	オ	市政情報をタイムリ-に周知するために重要な媒体である ことから、今年度策定する「(仮称)広報(情報提供)マスター プラン」の策定作業を進める中で、今後のあり方を検討し、 実施する。	0.8			1					広報課	オ-9
9	広報事業	メルマガジン配信業務	3,609	C				1								1	オ	市政情報などを希望する市民等に対して積極的にお知ら せる媒体であることから、今年度策定する「(仮称)広報 (情報提供)マスタープラン」の策定作業を進める中で、今後 のあり方や登録者を増やす方策を検討し、実施する。	0.4			1					広報課	オ-9
10	広報事業	テレビ広報番組作成業務	30,445	C											1	3	オ	映像を通して本市の魅力を市内外に伝えることができる媒 体であることから、今年度策定する「(仮称)広報(情報提 供)マスタープラン」の策定作業を進める中で、今後のあり方 を検討し、実施する。	0.8			1					広報課	オ-7
11	広報事業	FMラジオ広報業務	4,980	C											1	3	オ	不特定多数の人への情報伝達手段であるラジオ(FM NA CK5)を活用することにより、市内外に向けて本市を紹介・ PRする。今年度は月曜日から金曜日までの毎日1回、10 秒間のさいたま市イメ-ジCMを放映。	0.2			1					広報課	ア-5

担当局																				市長公室							
通番	事務事業名	事業名	H22年度 予算額 (千円単位)	事業 類型	見直しの判断基準(メルクマ-ル)										実施 方法	事業の概要 (目的・内容)	見直しの方向性			職員数			提出調書			担当課	行革本部 の見解
					(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	該 当 な し			方 向 性	見直し内容		正 規	再 任 用	臨 時	様 式 2	附 表 1	附 表 2		
12	広報事業	PRビデオ制作及び新春特別 番組制作放映業務	3,186	C										1	3	市民へ魅力あるまちを広くPRすると共に、他の市町村の方にも住んでみたいまちと感ずるような情報発信を行うために、毎年テーマを設け、映像を媒体とした広報番組を制作・放映する。	オ	本市の魅力を広くPRするだけでなく、情報の保存という観点からも必要であることから、今年度策定する「(仮称)広報(情報提供)マスター・プラン」の策定作業を進める中で、今後のあり方を検討し、実施する。	0.2			1				広報課	オ-7
13	広報事業	プラズマテレビ広報業務	5,204	C										1	2	区役所を訪れる市民の方に対して、各区に設置してあるプラズマテレビを活用して市政に関するお知らせなどを提供する。	ク	区役所を訪れる多くの人に情報を提供することができる媒体であることから、市民の方が本市への興味・関心を喚起できる情報の提供に努めながら実施する。	0.2			1				広報課	オ-7
14	広報事業	ガイドブック・ガイドマップ作成 業務	4,183	C										1	2	転入者に対して区役所や公共施設などの利用案内として、ガイドブック・ガイドマップを作成する。	ク	転入世帯にとって有効な情報入手手段であることから、今後とも見やすさ・使いやすさを大切にしながら実施する。また、広告料の増加方策について検討する。	0.6			1				広報課	カ-3
15	広報事業	市勢要覧作成業務	1,890	C										1	3	大規模な会議などで本市をPRするため、市の成立過程、各区の案内、総合振興計画の内容紹介などをビジュアル的に紹介する冊子を作成する。	ク	対外的に本市をPR・紹介するものであり、今後とも必要部数を精査し、実施する。	0.3			1				広報課	オ-7
16	広報事業	市政広告掲載業務	2,750	C										1	2	さいたま市をPRする手段として、主に不特定多数の目にふれる新聞等に特集記事やキャンペーン広告などの掲載を行う。	ク	市外にも情報発信する手段として有効であることから、広告対象や広告枠など今後のあり方を検討し、実施する。	0.4			1				広報課	オ-7
17	広報事業	広報事業運営業務	2,057	C										1	1	広報事業を遂行するために必要な写真撮影や物品を購入するほか、職員が業務上必要とする知識や技術の習得を図る。	ク	業務の円滑な遂行を図るうえで必要なものであり、今後とも必要性を精査のうえ実施する。	0.9			1				広報課	オ-9
18	NHK大型公開番組等開催事業	NHK大型公開番組等開催事業	2,320	C				1							5	市、NHKさいたま放送局、埼玉県産業文化センターの共催により、ソニックスティを会場としてNHK大型公開番組、NHK全国音楽コンクール埼玉県大会・関東甲信越大会を実施することにより、地域の文化振興・住民福祉の向上を図るとともに、NHKの放送を通じて、さいたま市を全国に向けてPRする。	ク	他共催者と今後の費用負担や運営方法などについて検討し、実施する。	0.2			1				広報課	オ-8
19	広聴事業	市長への提案制度「わたしの提案」	357	C										1	1	市政への市民参加意識の促進を図り、市民に開かれた市政を推進していくことを目的に、市・区役所、その他の公共施設等に設置した専用封筒、FAX、電子メールにより市民等から市政に対する建設的な提案を寄せていただく制度。受け付けた提案等の全てを市長が確認し、原則市長署名入り文書にて回答すると共に、各担当課において市政への反映に努めています。	オ	市長への提案制度「わたしの提案」事業は、市政への市民参加意識の促進を図り、市民に開かれた市政を推進していくものであるため、今年度策定する「(仮称)広報(情報提供)マスター・プラン」の策定作業を進める中で今後のあり方を検討し、事業を実施します。	2.0	0.8		1				広聴課	オ-9
20	広聴事業	公共施設見学会	173	C				1			1				1	施設広聴事業として、公募による参加者に市内公共施設を見学してもらい、施設に対するアンケート調査を行うことで、今後の施設の管理運営に活かしていくものです。	ア	公共施設を見学してもらい市民の意見を施設運営に活かしていく事業であり、合併により市域が拡大し、なじみの薄かった施設を見学してもらうことで、新市への理解を深め、旧市間の融和を進めていくことを目的とした事業ですが、合併後年数が経過し新市への理解が進んだこと、多くの施設で独自に見学会や利用者アンケートを実施し管理・運営に活かしていること、関東指定都市においても同様の状況から廃止されている事業であることから、既に事業目的を果たしており、平成22年度中に事業廃止の検討を進めます。	0.1			1				広聴課	ア-3
21	広聴事業	タウンミ-ティング	895	C				1							2	市民一人ひとりがしあわせを実感することができる市政にするため、市民の声を迅速に市政に反映させる機会として、市長と市民が直接対話するタウンミ-ティングを、毎年度各区2回計20回開催するものです。	オ	タウンミ-ティングは、設定したテーマについて市長が直接市民と対話することにより、迅速に市民意見を市政に反映できる事業であるため、今年度策定する「(仮称)広報(情報提供)マスター・プラン」の策定作業を進める中で今後のあり方を検討し、事業を実施します。	1.0			1				広聴課	オ-9

事務事業総点検<改革のカルテ>

担当局																					市長公室								
通番	事務事業名	事業名	H22年度 予算額 (千円単位)	事業 類型	見直しの判断基準(メルクマ-ル)											実施 方法	事業の概要 (目的・内容)	見直しの方向性			職員数			提出調書				担当課	行革本部 の見解
					(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	該 当 な し			方 向 性	見直し内容	正 規	再 任 用	臨時	様 式 2	附 表 1	附 表 2	附 表 3			
22	広聴事業	市民意識調査	3,987	C											1	2	オ	市民意識調査は、市政に対する市民意識を定量的に把握し、市政に市民の声を反映する事業であるため、今年度策定する「(仮称)広報(情報提供)マスター・プラン」の策定作業を進める中で今後のあり方を検討し、事業を実施します。	1.0			1					広聴課	オ-9	
23	広聴事業	市民の声集積事業	700	C											1	3	オ	コールセンター、わたしの提案、陳情・要望、市民意識調査、タウンミ-ティングなどに寄せられた「市民の声」を集積し、市政に反映するためのデータベースを作成・運用するものです。	0.4			1					広聴課	オ-9	
24	広聴事業	広聴活動推進事業	34	C											1	1	ク	広聴課の事業全般を実施するために必要な消耗品の購入及び研修・会議の参加を行うものです。	0.1			1					広聴課	ク-1	
25	パブリックコメント事業	パブリックコメント事業	310	C											1	1	オ	市の基本的な政策の策定等にあたり、当該政策等の形成過程の情報を公表し、公表した情報に対して提出された市民意見及び意見に対する市の考え方を公表することにより、市民の意見を市の政策等に反映させる「パブリックコメント制度」の適正な運用を行うものです。	1.0			1					広聴課	オ-9	
26	コールセンター-運営事業	コールセンター-運営事業	38,079	C											1	2	オ	市民からの問い合わせに迅速かつ効率的に回答するとともに、市民からの要望等を把握して市政に反映させるため、市民からの電話・FAX・E-MAILの問い合わせに対して、FAQ(よくある質問と回答)を活用してオペレータ-が回答する「さいたまコールセンター-」を運営するものです。	1.0			1					広聴課	オ-9	